コロテクトシステム工法ＦＶ－１－Ｎ仕様

【施工要領】

　　　　　ディックプルーフィング株式会社

１．コロテクトシステム工法ＦＶ－１－Ｎ仕様

表－１　コロテクトシステム工法ＦＶ－１－Ｎ仕様

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 材　　料　　名 | | 使用量  Kg／㎡ | 配　合　比 | 工　　　　　具 | 養生時間  ＨＲＳ |
| １ | ＣＴプライマー |  | ０．２ | －－－－－－ | ローラー刷毛・刷毛 | １～４ |
| ２ | ＦＶシート |  | １．０㎡ | －－－－－－ | カッター・ハサミ・　転圧ローラー | －－－ |
| ジョイントテープＴＭ |  | １．１ｍ |
| ３ | ガラスマット＃４５０ |  | ０．４８ | －－－－－－ | ローラー刷毛・刷毛  脱泡ローラー | ２～４ |
| ＣＴ－１００Ｒ | ※ | １．６ | １００／０.７～２ |
| ４ | ＣＴ－２０００ | ※ | ０．４ | １００／０.７～２ | ローラー刷毛・刷毛 | ２～４ |
| ５ | ＣＴカラートップＮ（防火用、遮熱） | ※ | ０．４ | １００／１～２ | ローラー刷毛・刷毛 | ２～４ |

※　硬化剤はパーメックＮＲ（Ｋ）０４を使用する。

　　注意事項　パーメックＮＲ（Ｋ）０４は、有機過酸化物なので取り扱いには十分注意する。

　　　　　　　Ⅰ　パーメックＮＲ（Ｋ）０４を加熱、火気は絶対に避ける。（爆発の恐れがある）

　　　　　　　Ⅱ　パーメックＮＲ（Ｋ）０４を衝撃、摩擦を与えない。（爆発する）

　　　　　　　Ⅲ　パーメックＮＲ（Ｋ）０４に異物、特に金属類の混入を避ける。（爆発する）

　　　　　　　Ⅳ　パーメックＮＲ（Ｋ）０４の保存は、直射日光を避け冷暗所に保存する。

　　　　　　　Ⅴ　パーメックＮＲ（Ｋ）０４を添加した樹脂は発熱するので、配合した残材は温度が低下するのを確認した後処分する。

２．コロテクトシステム工法ＦＶ－１－Ｎ仕様施工法

施工に先立ち下地勾配を1/100以上とり、出入隅の処理および適正な下地処理を実施しておくこと。

　工程１

　　①　ＣＴプライマーの塗布

　　　Ⅰ　ＣＴプライマーは、一液性湿気硬化型ウレタン樹脂である。

　　　Ⅱ　ＣＴプライマーの塗布は、ローラー刷毛・刷毛等を使用し**０．２kg／㎡**均一に塗布する。

　　　Ⅲ　施工時の気温に即した乾燥時間を十分にとる。

　　　注意　ＣＴプライマーの施工は、ＣＴ－１００Ｒの施工と同一の日に行う。

　　　　　　ＣＴプライマーは、塗布後１２時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下する。

　　　　　　この様な場合は、サンディング等を行い、再度ＣＴプライマーを塗布する。

　工程２

　　②　ＦＶシートの貼付け

　　　Ⅰ　ＦＶシートは、自着層付きブチルゴム系下貼り緩衝シートである。

　　　Ⅱ　ＦＶシートは、ＣＴプライマー塗布養生後、突き合わせで貼る。

　　　Ⅲ　立上り部・切り付け部及び役物廻りは、５０ｍｍ程度離して貼付ける。

　　　Ⅳ　ＦＶシート貼付け後、転圧ローラーを用い十分転圧を行う。

　　　Ⅴ　ジョイントは、ジョイントテープＴＭを貼付ける。

　工程３

　　③　ガラスマット＃４５０張り

　　　Ⅰ　ガラスマット＃４５０を張り込む。

　　　Ⅱ　ガラスマット＃４５０は、重ね幅を５０㎜以上とり、縁のほぐれた方を上にして張り込む。

　　④　ＣＴ－１００Ｒの塗布

　　　Ⅰ　ガラスマットの上に所定の配合割合で混合攪拌したＣＴ－１００Ｒをローラー刷毛・刷毛等を使用し

**１．６㎏／㎡**均一に塗布する。

　　　Ⅱ　ＣＴ－１００Ｒを塗布後、直ちに脱泡処理を行う。

　　　　　脱泡処理は脱泡ローラーを使用し、空気の混入の無いよう透明になるまで完全に行う。

　　工程４

　　⑤　ＣＴ－２０００の塗布

　　　Ⅰ　ＣＴ－２０００は、既調色の中塗用ビニルエステル樹脂で、所定の配合割合で混合攪拌する。

　　　　表－３　ＣＴ－２０００　配合割合

|  |  |
| --- | --- |
| 材　　　料　　　名 | 配合割合 |
| ＣＴ-２０００ | １００ |
| パーメックＮＲ（Ｋ）０４ | ０.７～２ |

　　　Ⅱ　ＣＴ－２０００の塗布は、ローラー刷毛・刷毛等を使用し**０．４㎏／㎡**均一に塗布する。

　工程５

　　⑥　サンダー掛け

　　　Ⅰ　ＣＴ－２０００が硬化後、ガラスマットの突起の有無を点検する。

　　　Ⅱ　ガラスマットの突起は、サンダー・サンドペーパー等を用いて除去し平滑にする。

　工程６

　　⑦　ＣＴカラートップＮ（防火用、遮熱）の塗布

　　　Ⅰ　ＣＴカラートップＮ（防火用、遮熱）は、トップコート用ポリエステル樹脂で、所定の配合割合で混合

攪拌する。

　　　　表－４　ＣＴカラートップＮ（防火用、遮熱）　配合割合

|  |  |
| --- | --- |
| 材　　　料　　　名 | 配合割合 |
| ＣＴカラートップＮ（防火用、  遮熱） | １００ |
| パーメックＮＲ（Ｋ）０４ | １～２ |

　　　Ⅱ　ＣＴカラートップＮ（防火用、遮熱）の塗布は、ローラー刷毛・刷毛等を使用し**０．４㎏／㎡**均一に

塗布する。

　　　Ⅲ　ＣＴカラートップＮ（防火用、遮熱）の硬化後、一般開放まで１０時間以上養生する。

＊FVシートは手で空気を押し出すように、下地になじませるように貼る。

＊FVシートの端部はﾃｰﾌﾟ無し

＊FVシートのｼﾞｮｲﾝﾄは、ｼﾞｮｲﾝﾄﾃｰﾌﾟTMで、CT-100 Rにﾊﾟｰﾒｯｸ1％以上入れたものを塗る。

（ﾒｯｼｭ目を潰す為）

＊出隅は削る：面又はR

＊入隅は、ｳﾚﾀﾝｼｰﾙ等で面又はRを取る

ｶﾞﾗｽﾏｯﾄのｼﾞｮｲﾝﾄは50㎜以上取る

　　　　　　　　　　　　　50㎜　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　50㎜

FVｼｰﾄ